入院診療看護計画表(全身麻酔による人工膝関節全置換術)

様) 病棟 病室 氏名(担当医() () (看護師() 病日 入院当日 入院3日目 入院4日目 入院5日目 入院6日目 手術当日 手術前日 術後1日目 術後2日目 術後3日目 術後4日目 項目 患肢の安静を守ることができる 痛みのコントロールができる …… 手術を受けることができる 落ち着いて手術前の準備ができる 患肢に体重をかけて 車椅子へ移動ができる 積極的にリハビリをすることができる 目 標 装具が適切に装着できる 看護師の説明が理解できて 不眠や不安がなく 分からないことは遠慮なく質問できる 過ごすことができる and the second 同意書を提出してください 採血があります 酸素吸入をします 採血があります 採血があります (中止の指示があるまで) □ 手術同意書 □ 輸血に関する同意書 点滴がある場合があります 点滴があります ・ □ 麻酔説明同意書 ※トイレは点滴の □ 深部静脈血栓症・ 前にすませましょう 肺寒栓症の説明同意書 尿を出すための管が入っています 尿の管を抜きます □ 身体抑制の説明同意書 予 定 血栓予防のフットポンプを 足につけます 《外来にて》 □ 胸部レントゲン □ 心電図 □ 採血 □ 検尿 □ 膝・下肢レントゲン 実施の確認をします 食事・水分は指示に従ってください 手術後、食事・水分は 食事ができます 食事はできません 食 事 ※水分は指示に 指示に従ってください 従ってください 制限はありませんか ベッド上安静にしてください 縫合時:ベッドサイドでリハビリを 歩行練習をします 上半身をベッドで起こすことが出来ます 開始します ダーマボンド(皮膚接着剤)使用時: 痛みに応じて動けます 排便はベッド上になります 車椅子でトイレに行けます 活 動排 泄 筋力の改善に応じて 膝の固定具をとります ※退院まで夜間は装着します 機械で膝の運動をします 患部を冷やします 手術着に着替えます 手術着を着替えます 爪切り、除毛をします タオルで体を拭きましょう 縫合時:タオルで体を拭きましょう (拭きにくいところは看護師が お手伝いします) 清潔 (拭きにくいところは看護師が お手伝いします) ダーマボンド(皮膚接着剤)使用時: シャワーができます 栄養指導があります 手術中、ご家族の方は 病室でお待ちください 入院までの経過をお聞きします 担当医よりご家族の方へ (術後3日目~5日目の間に) 結果説明があります 手術、麻酔についての 痛み、その他 説 明 指 導 説明があります 何かあればお知らせください 医療福祉課よりご家族の方へ 入院前の生活状況と 転院先の希望を確認します

入院診療看護計画表(全身麻酔による人工膝関節全置換術)

病室 氏名(様) 病日 入院7~8日目 入院9日目 入院10~11日自 入院12日目 入院13~15日目 入院16日自 入院17~18日目 入院19日自 入院20日首(退防 術後18日目 術後5~6日目 術後7日目 術後8~9日目 術後10日目 術後11~13日目 術後14日目 術後15~16日目 術後17日目 項目 安全にシャワー浴を行うことができる 退院後の注意事項が理解できる 痛みのコントロールができる 退院先について 考えることができる 目 標 不眠や不安がなく 歩行が安定し、膝関節の可動域も" 良好であれば退院できます 過ごすことができる ″■退院の目安■ 縫合している時は抜糸 をします ①T杖(1本杖)で安定した歩行が可能なこと ②日常生活が過ごせるように、120°膝が曲がる 採血があります 🥢 حے レントゲン撮影があります 予 定 血栓予防のフットポンプを ″■退院指導■ 足につけます ①リハビリを続けましょう ②外来受診日 月日() 時 分 担当医(食事ができます 食 事 歩行練習をします 歩行状態に応じて、 階段昇降や屋外歩行の 練習が始まります 活 動排 泄 筋力の改善に応じて 膝の固定具をとります ※退院まで夜間は装着します 機械で膝の運動をします 縫合時:タオルで体を拭きましょう シャワーができます 清潔 (拭きにくいところは看護師が お手伝いします) ダーマボンド(皮膚接着剤)使用時: シャワーができます リハビリの進行状況で リハビリの進行状況で 転院か、自宅退院か 検討します 転院か、自宅退院か再度検討します 退院時の指導があります 栄養指導があります(希望時) 説 明 指 導 (術後14日目~退院日までの間に)